

議 事 録

共同生活支援センターウッズ

会 議 名	令和 7 年度 共同生活支援センターウッズ 地域連携推進会議		
日 時	令和8年2月 17 日(火) 10:00～11:00		
開催場所	グループホーム 楡のの木		
出席者名	利用者 2 名、 地域の関係者1名、福祉に知見のある人 2 名、 関市役所 障害福祉政策課 1 名、施設職員 2 名		
記 録 者	北川	作 成 日	令和8年2月 26 日

議 題
1. 開会あいさつ 2. 出席者紹介 3. 施設見学(楡の木) 4. 利用者の皆さんの日常生活の様子について 5. ご質問や意見交換 6. 閉会あいさつ

議 事 内 容
1. <u>開会のあいさつ</u> ・開会のあいさつがあり、地域連携推進会議について会議の趣旨と重要性について説明をした。 ・共同生活支援センターウッズ・グループホーム楡の木の概要を説明した。 2. <u>出席者紹介</u> ・出席者全員が自己紹介を行った。 3. <u>施設見学(楡の木)</u> ・共有スペース(リビング、お風呂、洗濯場)、各利用者さんの居室 4. <u>利用者の皆さんの日常生活の様子について</u> ・日常生活の様子をまとめた写真動画を流す ・個別支援について →ひとりひとりの希望に応じたものになっている。

ホームで使用する日用品の購入や理容・美容についても支援者が個別外出として付き添い地域にあるお店で購入や理容・美容を行っている。

楡の木に関しては、立地として徒歩圏内でお店やイベントの催し物も多いので徒歩での外出が多い。

2月11日祝日も食のマルシェがホームの近くで催しており、出掛けた。

5. ご質問や意見交換

・ホームは、銀行を改築した建物であり、建物としてはしっかりしている。建物の立地上、土砂災害や水害の心配はない。しかし、2階が住居スペースであり、火災時等の避難方法がロープはしごであるため、リスクがある。

・昨年の夏も停電があり、暑くて過ごせず、外に出て復旧を待つということがあった。

→このホームができた時に内覧会で見学をさせてもらったことがあるが急な階段で今後、利用する方がこの階段を登れるのかと心配したが今は、手すりが両端についており、安心した。

この建物は丈夫であると思うから、安易に避難せず、非常食を準備しておき、ホームで助けが来ることを待つことを優先してもよいと思う。

【利用者1】

・不満はない。楽しく過ごせている。楡の木でやりたいこととして、ボーリングをやりにいきたいと思う。

【利用者2】

・私もボーリングがしたいです。たのしいです。

【福祉に知見のある人】

・居室の中央にリビングがあり、その空間に利用者の好きな物、作った物を飾っていることがよい。

・みんなが集まる空間に飾ることで話題共有となり、生活を豊かにすると思う。

・岐阜市内で障がいのある人などの芸術・文化活動を支援している団体があるので、そこにこのホームのアートを紹介してもよいか。

→いいですよ。見に来てもらえることが楽しみです。

【市役所】

・居室も個人のカラーがあり、好きなものに囲まれて生活をされているので、これを維持してほしい。

6. 閉会の挨拶

・頂いた意見を今後の支援に活かし、引き続き地域との連携を深めるべく協力の依頼をし、閉会した。